



2023年3月期第2四半期 決算補足説明資料

証券コード：2108 日本甜菜製糖株式会社

2022年11月8日



1. 【2023年3月期連結業績予想を上方修正】

今期業績予想について売上高、利益を上方修正いたします。

(詳細は12ページ、13ページをご参照下さい。)

2. 【北海道農業機械工業会より

北海道知事賞と北農工会長賞を受賞しました】

当社の開発した農業機械「ひっぱりくん動力ユニットHPD-2G」が北海道農業機械工業会より北海道知事賞と北農工会長賞を受賞しました。

(詳細は15ページをご参照下さい。)

(農業資材事業の詳細につきましては31ページをご参照下さい。)

3. 【サステナビリティ委員会の新設】

当社グループ全体でサステナビリティを推進する体制を構築します。

(詳細は19ページをご参照下さい。)



1. 第2四半期決算概要	4 P～
2. トピックス	14 P～
3. ガバナンスの取り組み	18 P～
4. 参考資料	23 P～



てんさい
甜菜

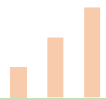
「てん菜」は、「ビート」とも呼ばれる農作物です。
糖度が約17%と高く、砂糖の原料として北海道で栽培されています。

※他の作物の糖度

サトウキビ	約13%
りんご	約15%
バナナ	約21%
みかん	約12%

※品種により異なります

(果物には果糖等の糖類も含まれておりますが、てん菜、サトウキビ、サトウカエデ(メープル)等は砂糖を効率よく蓄えます。)



1. 第2四半期決算概要



第2四半期決算概要

5

- ・ 砂糖事業、飼料事業で増収、減益
- ・ 営業利益は前年同期比 428百万円減（26.8%減）
- ・ 前年同期に關係会社株式売却損を特別損失に計上しており、純利益は増加

単位：百万円

	2022年3月期		2023年3月期			
	第2四半期実績 (A)	通期実績	第2四半期実績 (B)	前年との差異 (B)-(A)	前年同期比	通期予想に 対する達成率
売上高	26,197	58,492	30,501	4,303	16.4%	46.2%
売上原価	18,688	43,216	22,864	4,176	22.3%	—
売上総利益	7,509	15,276	7,637	127	1.7%	—
販売費及び一般管理費	5,908	13,046	6,464	556	9.4%	—
営業利益	1,600	2,229	1,172	▲428	▲26.8%	195.4%
売上高営業利益率	6.1%	3.8%	3.8%	—	—	—
経常利益	1,882	2,818	1,426	▲455	▲24.2%	142.6%
売上高経常利益率	7.2%	4.8%	4.7%	—	—	—
当期純利益	652	1,975	981	328	50.3%	140.2%



セグメント別 砂糖事業

6

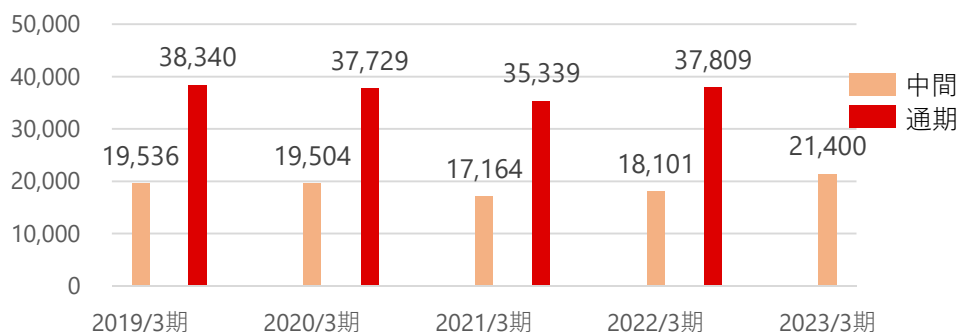
単位：百万円

	2022/3期 2Q	2022/3 通期	2023/3期 2Q	増減 (前年同期)
売上高	18,101	37,809	21,400	+ 3,298
営業利益	1,041	▲331	871	▲170

- 例年並みの販売量には及ばないまでも飲料向け、外食向けの出荷が回復傾向
- 砂糖販売価格の上昇
- 販売費の増加

売上高

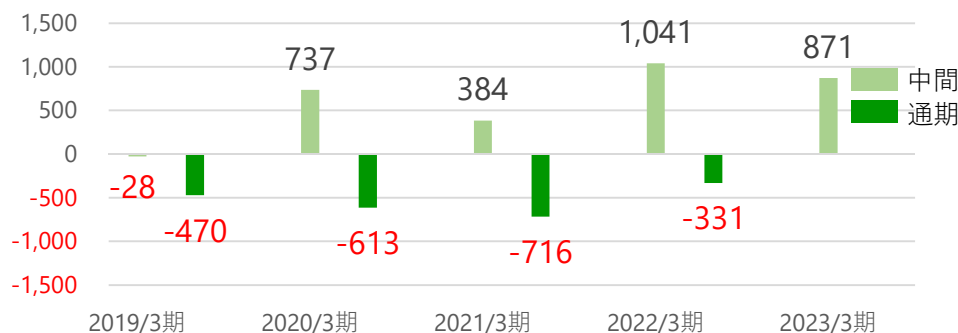
単位：百万円



- 売上高はてん菜の豊凶、海外砂糖相場、国内砂糖消費量等、外部要因の影響大
- 一定の数量を超えるビート糖は、安価なビート原料糖として販売
- 国内消費量の減少により、ビート原料糖の販売量が増加し、売上高は減少傾向

営業利益

単位：百万円



- コスト削減への取り組みが課題
- エネルギーコストの増加が懸念
- 10月－11月に収穫されるてん菜から製造されるビート糖の棚卸資産の一部について、砂糖市況の動向により評価損の計上が必要になる場合があり、第3四半期以降の損益が悪化する傾向がある



セグメント別 食品事業

7

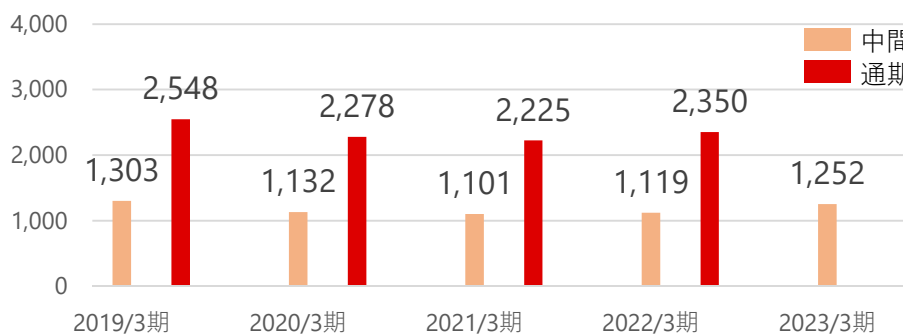
単位：百万円

	2022/3期 2Q	2022/3 通期	2023/3期 2Q	増減 (前年同期)
売上高	1,119	2,350	1,252	+133
営業利益	▲3	▲21	15	+18

- コロナ禍の影響が落ち着き、外食向けの業務用イーストが増加
- ラフィノース、フラクトオリゴ糖の販売量が増加

売上高

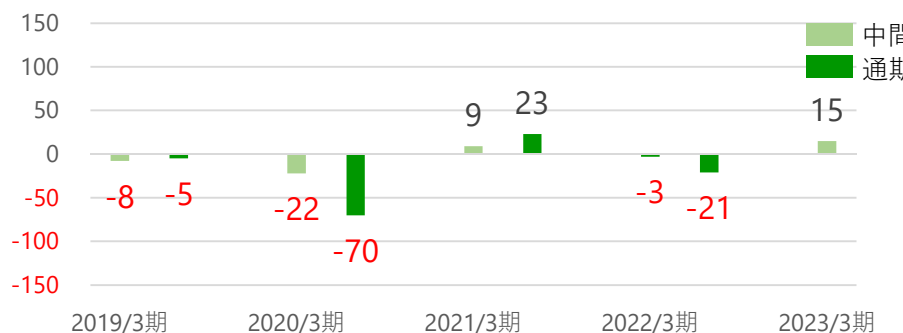
単位：百万円



- ドライイーストの販売拡大に注力
- 液状オリゴ糖の拡販により売上の確保に努めている

営業利益

単位：百万円



- エネルギーコストの増加が懸念
- オリゴ糖等食品素材の販売回復が課題



セグメント別 飼料事業

8

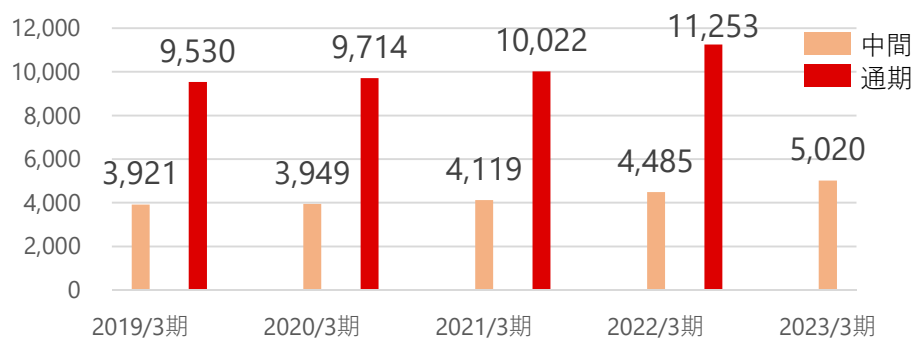
単位：百万円

	2022/3期 2Q	2022/3 通期	2023/3期 2Q	増減 (前年同期)
売上高	4,485	11,253	5,020	+ 534
営業利益	171	1,321	▲230	▲402

- 配合飼料販売数量はほぼ変わらず、原材料価格の上昇により販売価格も上昇
- ビートパルプの繰越在庫の販売が減少

売上高

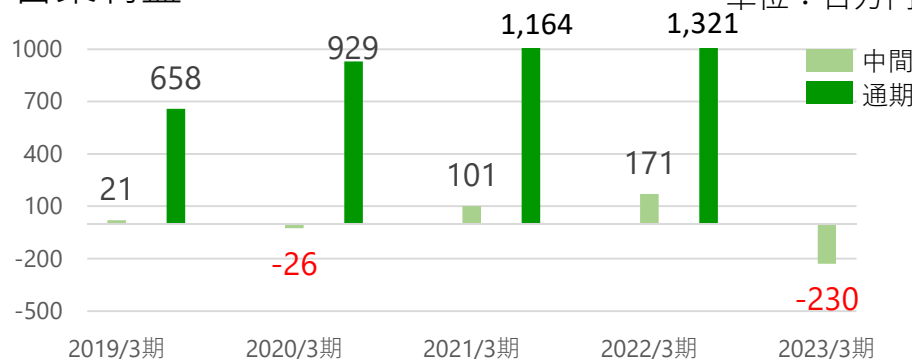
単位：百万円



- 機能性のある独自商品を継続的に市場へ投入
- 乳牛用だけでなく和牛用、育成牛用にも注力
- ビートパルプ売上はてん菜の豊凶に依存

営業利益

単位：百万円



- とうもろこし等原料価格が製造コストに大きく影響
- 酪農を取り巻く環境が厳しい



セグメント別 農業資材事業

9

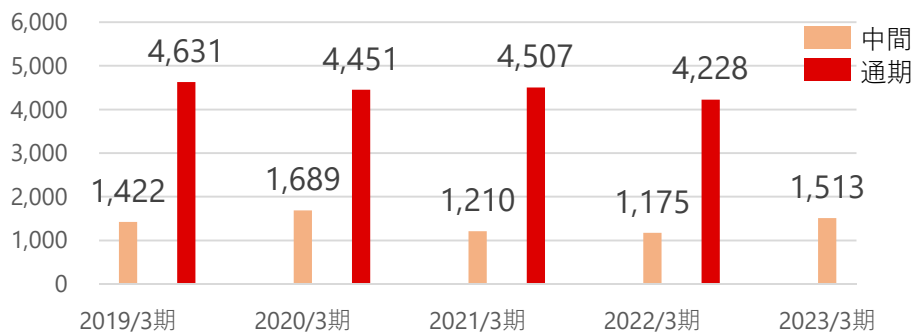
単位：百万円

	2022/3期 2Q	2022/3 通期	2023/3期 2Q	増減 (前年同期)
売上高	1,175	4,228	1,513	+337
営業利益	▲27	190	76	+103

- そ菜用紙筒の販売量が増加
- 農業用機械器具の売上が増加

売上高

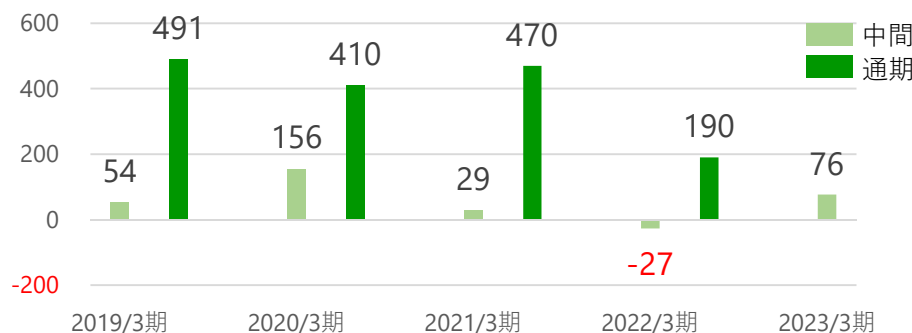
単位：百万円



- 直播拡大によりビート用紙筒販売が減少傾向
- そ菜用、輸出用の紙筒が増加
- ビート用移植機は、年度により受注数量の変動が大きい

営業利益

単位：百万円



- 紙筒の出荷時期のずれによる影響あり

※直播：ポット等で育苗しないで、
直接畑や庭にタネをまくこと



セグメント別 不動産事業

10

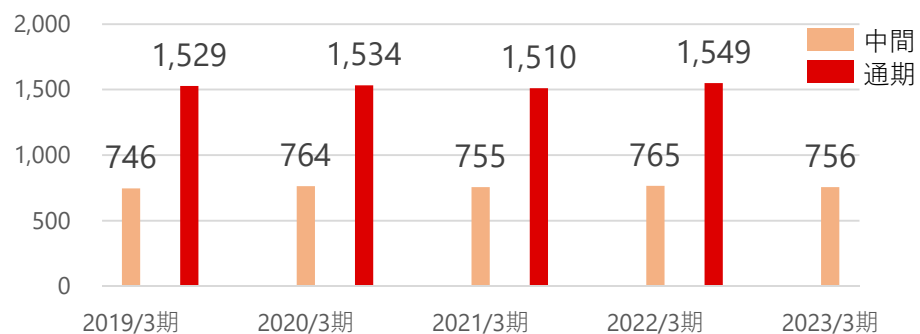
単位：百万円

	2022/3期 2Q	2022/3 通期	2023/3期 2Q	増減 (前年同期)
売上高	765	1,549	756	▲9
営業利益	474	968	480	+5

- 一部賃貸物件の稼働率が低下
- 経費削減

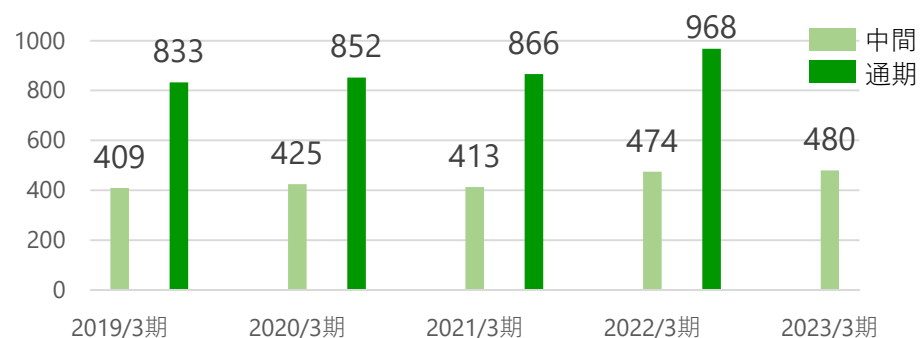
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



- 各テナントとの友好的な関係の維持に努める



セグメント別 その他の事業

11

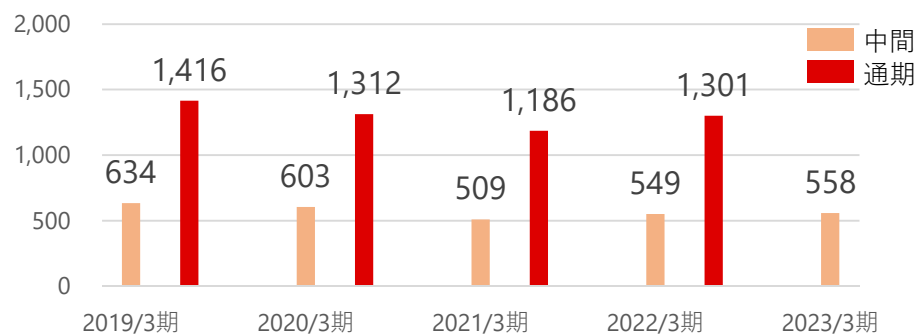
単位：百万円

	2022/3期 2Q	2022/3 通期	2023/3期 2Q	増減 (前年同期)
売上高	549	1,301	558	+ 8
営業利益	▲120	94	▲98	+ 21

- 石油類の販売価格上昇
- 経費削減もあり、営業損失は減少

売上高

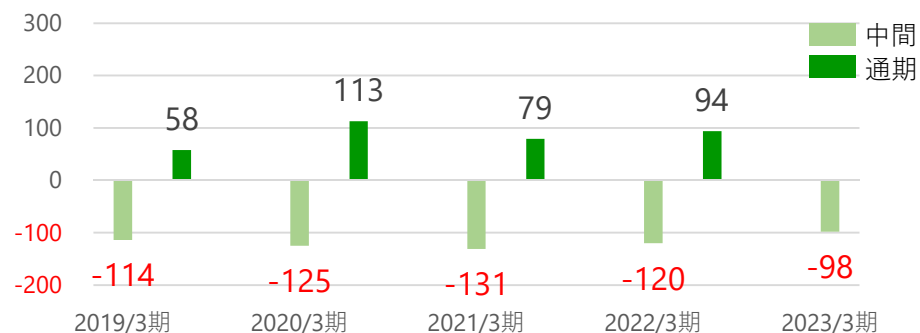
単位：百万円



- 連結会社間の売上は連結決算にて消去されるため、連結決算の売上に計上されない

営業利益

単位：百万円



- 秋に農作物の輸送があるため、下期に利益が増える傾向あり



今期業績予想の修正について

12

砂糖事業においてエネルギーコスト等の増加により大幅な減益となることを見込んでおりましたが、

- 砂糖消費の回復傾向を受け販売量が増加していること、また、国内砂糖相場の上昇により売上高が増加する見込みです。
- 例年、第3四半期、第4四半期において原料糖の棚卸在庫について棚卸評価損を計上しておりますが、**原料糖の販売価格も上昇しているため、棚卸評価損の計上額が減少する見込み**となりました。
- エネルギーコスト等の増加を踏まえ、全社的に経費の見直しをしております。

⇒これらにより**売上・利益が当初の予想より増加**する見通しとなったことから

2022年5月13日に公表した通期連結業績予想を修正いたします。

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 62,000	百万円 △1,100	百万円 △700	百万円 △500	円 銭 △37.08
今回修正予想(B)	66,000	600	1,000	700	51.91
増減額 (B - A)	4,000	1,700	1,700	1,200	
増減率 (%)	6.5	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	58,492	2,229	2,818	1,975	141.76

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。



今期業績予想について

13

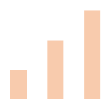
今回修正後の通期業績予想と前期実績との比較は以下のとおりとなります。

- ・ エネルギーコスト等の増加の影響により前期と比較すると減益の見込み
- ・ 10月から開始した今期製糖については、効率的な製糖に努め、エネルギー及び副資材の使用量削減等の製造コストの低減を図る

単位：百万円

	2022年3月期		2023年3月期			
	第2四半期実績	通期実績	第2四半期実績	前回(5/13)通期予想	今回修正通期予想	前回予想との差異
売上高	26,197	58,492	30,501	62,000	66,000	+4,000 (106.5%)
売上原価	18,688	43,216	22,864	—	—	—
売上総利益	7,509	15,276	7,637	—	—	—
販売費及び一般管理費	5,908	13,046	6,464	—	—	—
営業利益	1,600	2,229	1,172	▲1,100	600	+1,700 (-)
売上高営業利益率	6.1%	3.8%	3.8%	▲1.8%	0.9%	—
経常利益	1,882	2,818	1,426	▲700	1,000	+1,700 (-)
売上高経常利益率	7.2%	4.8%	4.7%	▲1.1%	1.5%	—
当期純利益	652	1,975	981	▲500	700	+1,200 (-)

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。



2. トピックス



北海道農業機械工業会優良農業機械・施設改良表彰受賞について

- 2022年5月19日 北海道農業機械工業会より、
「ひっぱりくん動力ユニットHPD-2G」が北海道知事賞と北農工会長賞を受賞しました。

「ひっぱりくん®」は、「チェーンポット®」で栽培した苗を、畑に移植する専用の農業機械です。溝切、移植、土寄せ、鎮圧の作業を同時に行うことができ、農作業が省力化できます。

「ひっぱりくん動力ユニットHPD-2G」は「ひっぱりくん®」に動力ユニットを接続することで、作業が楽になり、あわせて苗箱を運搬する作業の省力も可能となりました。

（「チェーンポット®」は、「ペーパーポット®」の鉢（セル）の株間を紙で連結し、苗を一定の株間で畑に移植することができる育苗資材です。「ペーパーポット®」の詳細については、31ページをご参照下さい。）



【ひっぱりくん動力ユニットHPD-2G】
動力ユニットにより少ない力で作業できます。



授賞式
右側が寺澤常務執行役員



配合飼料 新製品について

●配合飼料の新製品「スタート18」、「和牛のミカタ」を販売いたしました。

「スタート18」は、当社独自のオリゴ糖を配合しており、子牛の免疫力を高める効果のある飼料です。子牛が生まれてから早い段階での免疫を高め、胃腸にやさしい栄養配合となっています。乳牛・和牛どちらにもご使用いただけます。

「和牛のミカタ」は、乳牛向けの子牛用サプリメント「コウシのミカタ」を和牛向けにタブレット化した製品です。初乳に含まれる免疫物質の吸収を促進します。

人工哺乳を行う乳牛の育成とは異なり、母乳で育てる和牛の育成では粉末状サプリメントの給与は困難でしたが、タブレット化した事で新生子牛への給与が可能になりました。

当社は主に乳牛用の配合飼料を販売しておりましたが、近年は肉牛用にも注力しております。



【スタート18】

オリゴ糖を配合し、腸管内の免疫グロブリンIgAの生産を促進します。

(タンパク質の配合を約18%とし子牛の胃腸にやさしくなっております。)



【和牛のミカタ】

出生直後の子牛に給与する事で初乳に含まれる免疫物質の吸収を促進します。



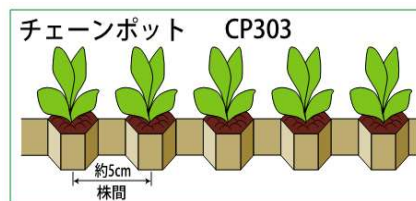
海外事業部の新設について

● 12月1日 組織変更を行い海外事業部を新設します。

当社の各部門（砂糖／食品／飼料／農業資材）の製品等の海外拡販戦略を立案主導し、各部門と連絡調整を採って海外展開を図ることを目的とし、海外事業部を新設します。

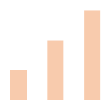
海外事業部長は寺澤常務執行役員が兼任いたします。
（組織変更及び役員担当異動予定日 12月1日）

現在、紙筒事業部内に海外事業課を設けて、海外から引き合いがある育苗用の農業資材を輸出しておりますが、海外事業部を設けることで、砂糖事業、食品事業、飼料事業部の製品についても海外展開を図っていきます。



【チェーンポット®】
当社の開発した紙製の育苗鉢
「ペーパーポット®」の株間を
連結した「チェーンポット®」
は農作業の省力化等が評価され
海外からも引き合いがあります。

ペーパーポット®については
31ページをご参照下さい。



3. ガバナンスの取り組み



サステナビリティ委員会の新設

●委員会設置の目的

当社グループは持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえた経営に取り組んでおり、その一環として「日甜アグリーン戦略」を掲げ、更なる企業価値の向上を目指しております。

サステナビリティへの取り組みの一層の強化を目的に6月に「サステナビリティ委員会」を設置いたしました。

サステナビリティ委員会は社長を委員長とし、社内取締役、執行役員で構成され、委員会で審議・決定した内容は経営会議に報告・提言される仕組みになっております。

委員会の下部組織として重要課題ごとに各担当部門の担当者による分科会を設けており、グループ全体でサステナビリティを推進する体制を構築いたしました。



第2回サステナビリティ委員会（2022年10月20日）



2022年6月5日発送 招集通知 取締役選任議案においてスキル・マトリックスを記載しました

●スキル・マトリックス

第124期 定時株主総会招集通知 株主総会参考書類 取締役選任議案に記載しております。

取締役候補者のスキルは、以下のとおりとなります。

スキルについては、取締役会に求められる機能、経営課題との整合性および当社グループの事業特性の観点から特定しております。

※下記一覧表は、候補者の有するすべての専門性や経験を示すものではありません。

なお、スキル・マトリックスの作成においては指名・報酬委員会で審議検討のうえ、作成しております。

スキル名称	定義
企業経営	持続可能な企業経営（E S G 含む）について知見がある
財務、会計	財務、会計について知見がある
人事、労務、人材開発	人事、労務、人材開発について知見がある
法務、監査、内部統制	企業法務、監査、または内部統制について知見がある
農業（政策、技術）	各種農業政策、または作物栽培、酪農、農業資機材等について知見がある
製造	製糖、発酵、農業資機材等の製造技術について知見がある
研究、開発	てん菜、砂糖、食品、飼料、農業資機材等の研究、開発について知見がある
営業、マーケティング、海外戦略	営業、マーケティング、海外戦略について知見がある

氏名	企業経営	財務、会計	人事、労務、人材開発	法務、監査、内部統制	農業（政策、技術）	製造	研究、開発	営業、マーケティング、海外戦略
惠本 司	○	○			○			○
石栗 秀	○				○	○	○	
八巻 唯史	○	○	○	○				
木山 邦樹	○		○		○			○
寺澤 秀和	○					○	○	○
浅羽 茂	○		○					○
橋本 秀一	○				○		○	○
中村 規代実	○		○	○				



気候変動に係るリスクについて

21

サステナビリティ委員会の設置により、当社グループの気候変動によるリスクへの対応として以下のような取り組み体制となりました。

今後とも気候変動によるリスク・機会の分析とガバナンス体制の整備を通じて、持続可能性の向上に努めてまいります。

ガバナンス	・ サステナビリティ委員会において、気候変動に関するリスクや機会に対する対応策の議論や検討を行い経営会議への報告及び提言を行います
リスク管理	・ 事業活動に関するリスクについてはリスク管理推進委員会でリスクを評価し、取締役会にて、報告しております ・ エネルギー管理委員会を設置し、エネルギー使用量の管理及び削減に向けて取り組んでおります

温暖化などの気候変動により想定されるリスク

原料てん菜の収量・品質への悪影響	砂糖事業	食品事業	飼料事業
輸入原料（粗糖・配合飼料原料）の価格高騰・調達難		砂糖事業	飼料事業
製品販売への影響	消費者の嗜好の変化に伴う砂糖・イーストの需要の変動	砂糖事業	食品事業
	牛の食欲低下による配合飼料の売上減	飼料事業	
	栽培地域／栽培方法の変化による農業資材の需要の変動	農業資材事業	
環境対策（CO2排出量削減など）によるコストの増加			
環境対策が不十分な場合のレピュテーションリスク			

指標と目標

サステナビリティを巡る課題とその対応について、重要な課題のうち、気候変動に関連するものとして

①気候変動への対応、②資源の有効利用、③持続可能な技術・新商品の開発

を目標として設定しております。

Scope 3を含むCO2排出量の計測について検討、取り進めております。



事業ポートフォリオについて

22

- 第1次日甜グループ中期経営計画において、**砂糖事業・不動産事業を基盤事業とし、食品事業・飼料事業・農業資材事業を成長事業**と位置付けております
直近の事業年度における各事業における設備投資・研究開発投資・人的資本への投資等の状況については以下のとおりです

成長事業

【2022年3月期】

単位：百万円

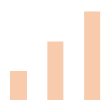
		砂糖事業	食品事業	飼料事業	農業資材事業	不動産事業	その他の事業	※全社	合計
外部顧客への売上高		37,809	2,350	11,253	4,228	1,549	1,301		58,492
内部売上を含む売上高	A	38,022	2,376	11,268	4,243	1,674	9,126		66,712
事業毎の利益	B	-331	-21	1,321	190	968	94		2,222
事業毎の資産	C	41,982	※ 2,635	4,536	6,354	8,371	3,195	33,383	100,458
投資額	D	1,853	27	20	57	47	142		2,151
減価償却費		1,148	129	256	197	315	184		2,232
人員数	E	338名	69名	50名	140名	1名	90名	77名	765名
人員の増減（前年比）		+11名	-3名	-3名	+1名		+10名	+2名	+18名
試験研究費	F	298	131	134	80	-	-		644

従業員1名あたり売上高	A/E	112.5	34.4	225.4	30.3	1674.0	101.4		87.2
従業員1名あたり利益	B/E	-1.0	-0.3	26.4	1.4	968.0	1.0		2.9
試験研究費の売上高比率	F/A	0.8%	5.5%	1.2%	1.9%				1.0%
事業利益/事業資産	B/C	-0.8%	-0.8%	29.1%	3.0%	11.6%	2.9%		2.2%
投資の売上高比率	D/A	4.9%	1.1%	0.2%	1.3%	2.8%	1.6%		3.2%

※2022年3月期 食品事業において減損損失414百万円を計上しております

※全社（資産）は、現預金及び有価証券等です

※全社（人員）は、管理部門の従業員です



4. 参考資料



会社概要

24

社名	にっぽんてんさいせいとうかぶしきかいしゃ 日本甜菜製糖株式会社
社名英訳	Nippon Beet Sugar Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	〒108-0073 東京都港区三田三丁目12-14 ニッテン三田ビル
代表者	取締役社長 石栗 秀
資本金	82億7千9百万円
創立	1919年（大正8年）6月11日
従業員数	778名（連結）／631名（単体）
株式	東京証券取引所 プライム市場（証券コード 2108）



「日甜アグリーン戦略」で諸課題にチャレンジし、
持続可能な食料システム構築と新たな価値の創造を目指し
多くの方に支持され続ける企業に成長してまいります。

詳しくは当社HPをご参照下さい。

※「アグリーン」とは「アグリカルチャー」と「グリーン」を掛け合わせた造語です



主な事業拠点

25

主要な製造拠点は北海道にあり、北海道の地域経済と深くかかわっています。

●製糖所

芽室製糖所（河西郡芽室町）
美幌製糖所（網走郡美幌町）
士別製糖所（士別市）

●その他工場

清水バイオ工場（上川郡清水町）
清水紙筒工場（上川郡清水町）
江別種子工場（江別市）

●その他

札幌支社（札幌市）
ビジネスセンター（河西郡芽室町）
総合研究所・飼料事業部（帯広市）

ビート資料館（帯広市）

子会社 十勝鉄道(株)・スズラン企業(株)（帯広市）
サークル機工（株）（滝川市）
関連会社 とかち飼料（株）（広尾郡広尾町）

●道外の拠点

本社（東京都港区）
千葉物流センター（千葉県千葉市）

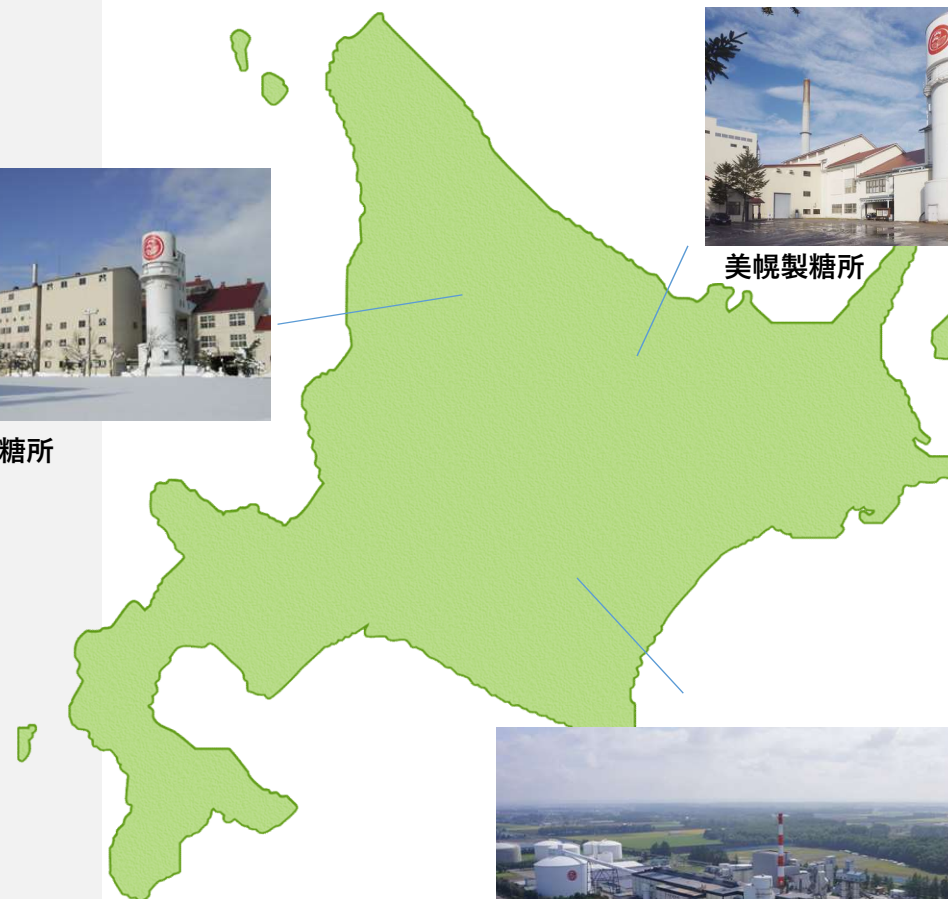
子会社 ニッテン商事（株）（千葉県千葉市）



士別製糖所



美幌製糖所



芽室製糖所



事業紹介

26

「てん菜糖業」から「てん菜産業」へ ～ てん菜糖業を基盤として、多角化を推進

砂糖事業

- ・てん菜(ビート)から砂糖(ビート糖)を製造し、販売しております。
- ・輸入粗糖から精製糖を製造販売しています。

食品事業

- ・てん菜の糖液から砂糖を取ったあとの糖蜜を利用してイースト(パン酵母)やオリゴ糖を製造、てん菜に含まれるラフィーノス、ベタイン、食物繊維等を抽出して販売しております。

飼料事業

- ・てん菜の繊維分を、ビートパルプとして牛用の飼料として販売しております。
- ・ビートパルプにトウモロコシ等を配合し栄養価を高めた配合飼料を販売しております。

農業資材事業

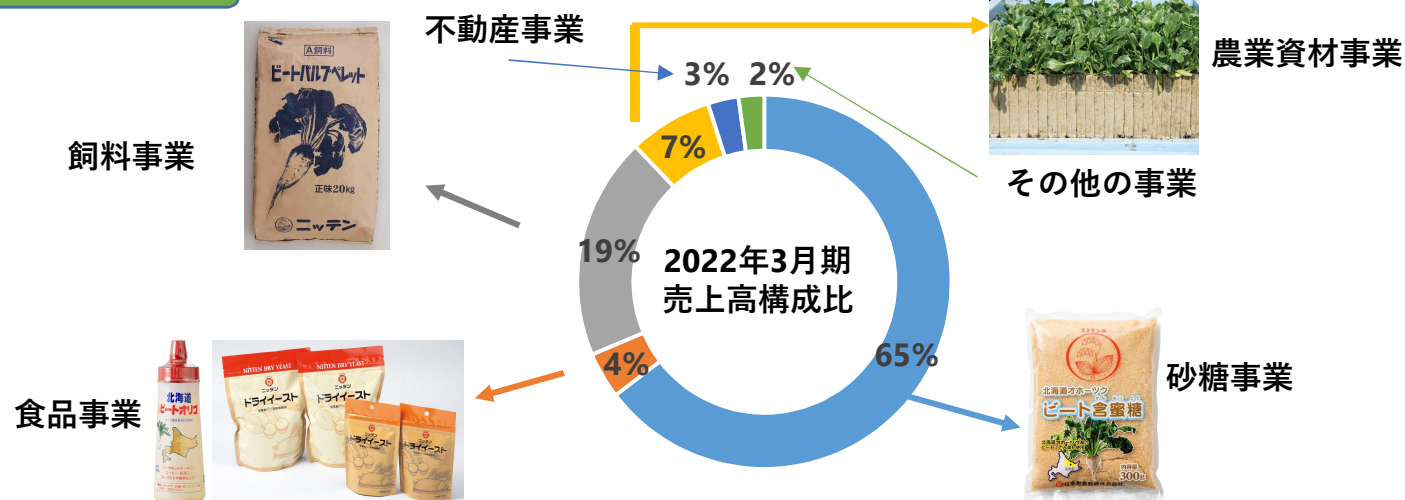
- ・てん菜の栽培技術を活かした、農業用資機材を販売しています。

不動産事業

- ・保有不動産の有効活用から始まり、投資物件も手掛けています。

その他の事業

- ・てん菜の製糖所への搬入や、砂糖・配合飼料の運送をしています。





事業紹介

飼料事業

27

砂糖事業から他の事業が派生

砂糖事業



道内各地に原料事務所を設置して
てん菜農家の皆様をサポート



食品事業



てん菜の繊維質（ビートパルプ）は牛
の飼料として活用
ビートパルプにトウモロコシ等を配合
した配合飼料を販売



砂糖製造・発酵の技術を活用

原料
調達

生産

物流

販売

北海道内の三製糖所で製造

農業資材事業



てん菜栽培の技術を活用
子会社 サークル機工(株)

その他事業

子会社 十勝鉄道(株)
原料てん菜の運搬
砂糖・配合飼料の運搬
子会社 スズラン企業(株)
石油類販売

砂糖事業

食品販売部 全国 5 カ所に営業所
子会社 ニッテン商事(株)

飼料事業

飼料事業部 北海道 5 カ所に営業所

農業資材事業

紙筒事業部 全国 4 カ所に営業所



砂糖事業

●事業概要

当社は寒冷な地域での栽培に適したてん菜を北海道（十勝、オホーツク、道央）の農家の方に栽培して頂き、収穫されたてん菜から砂糖を芽室・美幌・士別の製糖所で製造しております。

当社は北海道で製造されるビート糖の4割程度のシェアがあり、また豪州、タイ等から粗糖を輸入し精製した精糖も製造販売しております。

北海道、西日本ではスズラン印の砂糖として愛用されています。
業務用の砂糖は大手菓子、飲料メーカー等に販売しております。
国産で高品質の砂糖を安定的に供給できるのが当社の強みです。

当社は、ビート糖、精糖合わせ日本で消費される砂糖の1割強を供給しております。



業務用 グラニュー糖（30Kg）



家庭用 グラニュー糖 小袋（1Kg）



家庭用 三温糖 小袋（1Kg）



ポケットシュガー（6g/3g）



食品事業

●事業概要

製菓・製パン用のイースト（パン酵母）を製造・販売しております。
業務用の各種イーストのほか、家庭用のドライイーストも販売しております。
日本でドライタイプのイーストを製造しているのは当社だけです。

各種オリゴ糖を製造・販売しております。
オリゴ糖は胃で消化されにくく、腸内の善玉菌を増やす効果があります。

てん菜に含まれる有用成分である、ベタイン（アミノ酸の一種）や食物繊維を製造・販売しております。

子会社 ニッテン商事(株)は製菓・製パン原料等を仕入・販売しております。

当社の主業である「砂糖」と合わせて、様々な食品素材を供給することで、食生活に彩りを添えます。



とかち野酵母
（家庭用 ドライイースト）



ビートオリゴ
（オリゴ糖を含む液状甘味料）



ラフィノース100
（てん菜から抽出した粉末状のオリゴ糖）



飼料事業

●事業概要

「乳牛の力を科学で引き出す」

当社研究所は長年にわたり、乳牛の4つの胃袋のうち第一胃について独自の研究・開発をしてきました。

砂糖製造の過程で産まれた副産物を有効に活用し、食品製造で培われてきた研究と融合する事で、他社にはない「乳牛の潜在的能力を科学で引き出し、健康に生産を続けられる飼料製品」を販売しております。

当社の配合飼料はビートパルプを主な原材料とするものや、イーストやオリゴ糖を配合した機能性のある飼料を取り揃えております。

乳牛の健康、長命連産に寄与することで酪農家をサポートします。

また、てん菜に含まれる繊維質であるビートパルプは牛用の良質な飼料になります。

ビートパルプを牛の飼料として安定的に供給することで食料自給率の向上にも寄与しております。



(イースター16・18・20)
イースト菌が繊維の消化性を高めます。



(コウシのミカタ®)
子牛への初乳に添加することで免疫物質の吸収を助けます。



事業紹介

31

農業資材事業



ペーパーポット®

●事業概要

当社が開発した「ペーパーポット®」を中心に育苗用の資材及び関連する機材等を製造・販売しております。

「ペーパーポット®」は、特殊加工された紙製の鉢（セル）を結合した移植作物用集合鉢です。

広げた鉢（セル）に、土詰めと播種をすることで、そのまま育苗鉢となります。

紙製の鉢の特長は、通気性と浸水性にすぐれ、セル間で酸素や水分が均一に供給されるため、丈夫で均一な苗の育成が可能なことです。

移植の際には1株ずつに分離し、鉢ごと植え付けることで、移植時に鉢が根を保護し、根傷みが少なく効率のよい定植作業が可能となります。鉢は紙製のため、移植後は土中の微生物等で分解されます。

てん菜以外にも、レタス、キャベツ、ハクサイ等の葉菜用に各種の規格があります。

栽培する品目などに合わせてお選びいただけます。

移植作業の省力化が高く評価され、国内だけでなく海外に販路を広めています。

育苗用や移植用の農業用機械・器具、培土等も取り扱っております。

子会社 サークル機工(株)では農業用機械・器具の製造・販売を行っております。



ペーパーポット®を使用したレタスの育苗



レタスの定植適期

日本のてん菜の約5割
ネギの約3割
に使われております。



不動産事業

●事業概要

東京都、北海道等でオフィスビル、商業店舗等の賃貸をしております。

帯広市の旧製糖所跡地の一部を再開発した地区（約17万㎡）は、道東で最大規模の複合商業施設となっており、地域の皆様の暮らしに貢献しております。



北海道帯広市



東京都港区三田

その他の事業

●事業概要

子会社 十勝鉄道(株)は、原料てん菜やビート糖・配合飼料の運送を行っております。

子会社 スズラン企業(株)は、北海道帯広市・芽室町でガソリンスタンド、ボウリング場、書店、保険代理店を経営しております。



スズラン企業(株)
帯広西SS（北海道河西郡）



スズラン企業(株)
宮脇書店帯広店
（イトーヨーカ堂帯広店2F）



過去3年間の業績推移

33

- 当社グループは、売上高経常利益率を経営指標として設定し、目標とする売上高経常利益率を4.0%としております。

単位：百万円

	2020年3月期 第2四半期	2020年3月期	2021年3月期 第2四半期	2021年3月期	2022年3月期 第2四半期	2022年3月期	2023年3月期 第2四半期
売上高	27,643	57,021	24,862	54,792	26,197	58,492	30,501
経常利益	1,421	2,085	1,068	2,349	1,882	2,818	1,426
当期純利益	983	1,340	715	1,642	652	1,975	981
純資産額	67,531	66,951	67,599	68,462	68,641	67,918	67,587
総資産額	91,410	96,405	90,379	97,392	93,227	100,458	92,325
1株当たり 純資産額(単位:円)	4,754.55	4,714.90	4,759.98	4,886.11	4,896.95	5,037.45	5,008.64
1株当たり 当期純利益額(単位:円)	69.29	94.44	50.40	115.88	46.59	141.76	72.75
売上高経常利益率	5.1%	3.7%	4.3%	4.3%	7.2%	4.8%	4.7%
自己資本比率	73.9%	69.4%	74.8%	70.3%	73.6%	67.6%	73.2%
株主資本利益率 (ROE)	—	2.0%	—	2.4%	—	2.9%	—
売上高のうち砂糖事業 の占める割合	70.6%	66.2%	69.0%	64.5%	69.1%	64.6%	70.2%

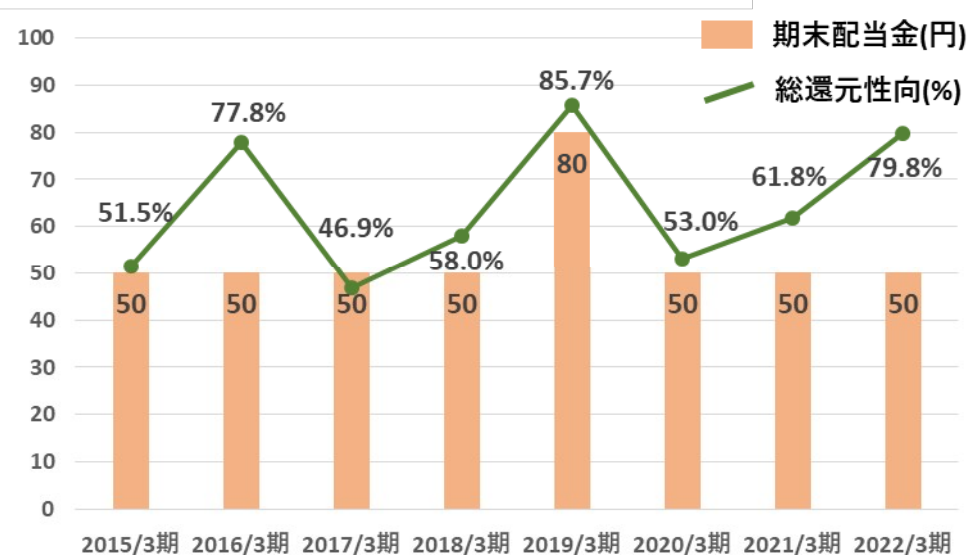


配当政策

34

●安定的な配当を継続することを基本方針としております

- 株主の皆様への適切な利益還元を経営上の重要な政策と位置づけております。
- 砂糖業界を取り巻く環境が依然として厳しく、先行き予断を許さない状況にありますが、企業体質の一層の強化・充実を図るため、内部留保にも意を用いつつ、安定的な配当を継続することを基本方針としております。



※2019/3期は1株につき50円の普通配当に加え、30円の創立100周年記念配当を実施いたしました。

※2016年10月に株式併合（10株を1株に併合）しており、2015/3期、2016/3期の期末配当金を5円→50円に換算しております。

※総還元性向は（配当金の総額＋自己株購入金額）／連結純利益で計算しております。（百万円未満切捨）
（取締役会決議による自己株式取得を下記の通り実施しております。）

2016/3期 1,834千株(株式併合前)350百万円、2021/3期 190千株315百万円、2022/3期 530千株902百万円



株主の皆様への贈呈

35

- 毎年その都度状況を勘案し、株主様へ当社製品の砂糖の贈呈を実施しております。
- 株主優待制度として実施しているものではございませんが、長きに亘りご愛顧いただいておりますので、特別な事情がない限り、今後も継続して実施して参ります。
- 贈呈基準は以下の通りです。（年一回 3月末に100株以上保有）

所有株式数 (株)	贈呈品	2022年7月実績
100～499株	砂糖 3 kg	グラニュー糖 2 kg 上白糖 1 kg
500～999株	砂糖 5 kg	グラニュー糖 2 kg 上白糖・白双糖・中双糖 各 1 kg
1,000株以上	砂糖10kg	グラニュー糖 4 kg 上白糖・白双糖・中双糖 各 2 kg





株価の推移

36

- 2022年4月 東京証券取引所市場第一部から新市場区分「プライム市場」へ移行しております。
- 証券コード 2108
- 新聞の経済面等では銘柄名が「甜菜糖」と記載されています。

株価チャート 2016年10月1日～2022年10月1日

(単位：円)





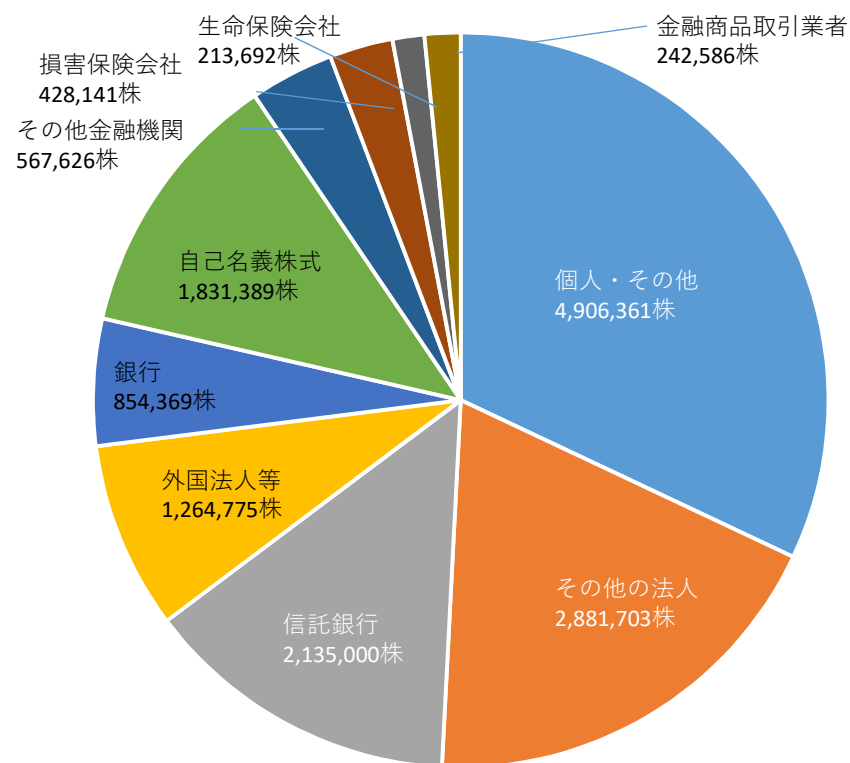
大株主の状況

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社	1,327,800	9.84
明治ホールディングス 株式会社	1,133,845	8.40
ニッテン共栄会	874,288	6.48
株式会社 日本カストディ銀行	515,200	3.82
農林中央金庫	514,926	3.82
東京海上日動火災保険 株式会社	428,141	3.17
株式会社みずほ銀行	355,183	2.63
NIPPON EXPRESSホール ディングス株式会社	320,288	2.37
DM三井製糖ホールディ ングス株式会社	265,300	1.97
スズラン持株会	262,556	1.95

※当社は自己株式1,831,389株を所有しておりますが、上記大株主の記載からは除外しております。

※持株比率は、自己株式数を控除して算出しております。

株主構成分布状況



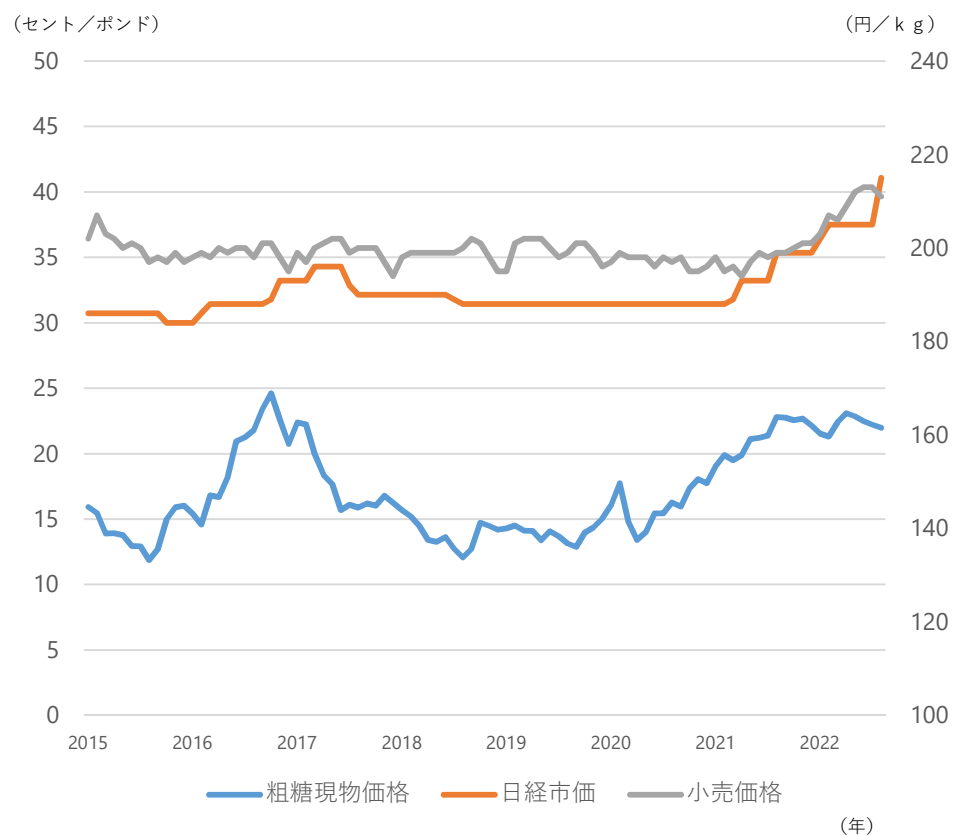


砂糖価格・砂糖消費量

38

砂糖市場の推移

2022年8月現在

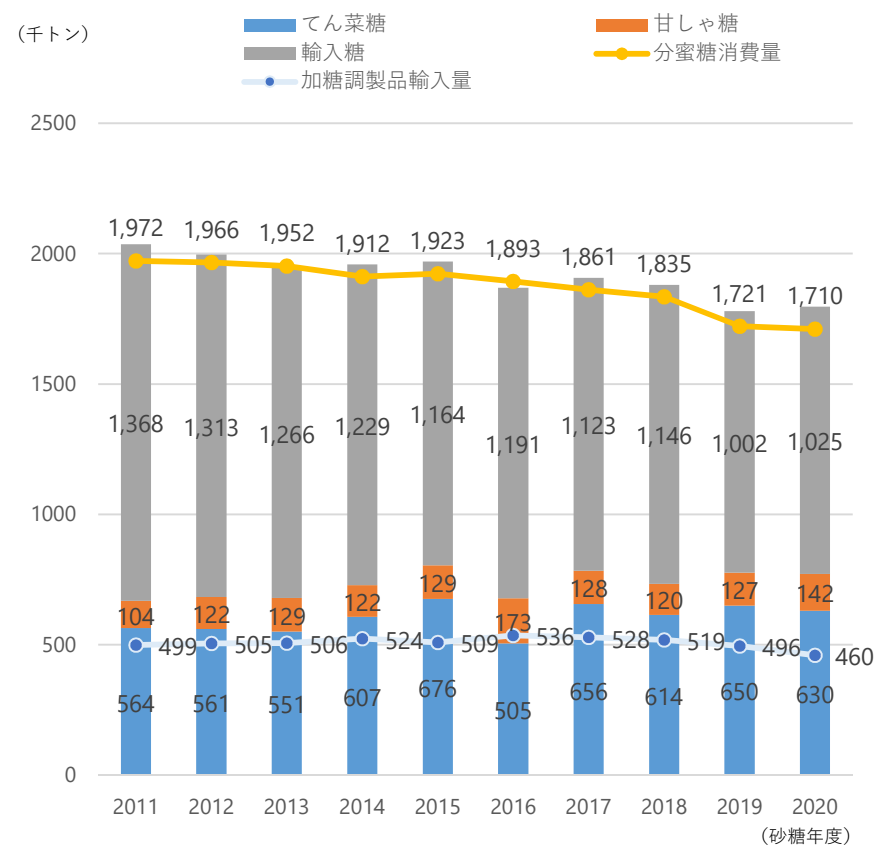


注1：小売価格は、総務省統計局調べ

注2：日経市価は、日本経済新聞の市中相場（東京、上白、30kg大袋入り）の価格（消費税抜き）で、各月の平均値

注3：粗糖現物価格は、東京商品取引所・大阪堂島商品取引所調査の粗糖現物価格（月平均価格）

砂糖消費量の推移



※砂糖年度とは、当該年の10月から翌年の9月までの期間

農林水産省「砂糖及び異性化糖の需給見通し」より当社作成

砂糖は植物が光合成により作り出す天然の食材であり、古くから使われてきました。

てん菜やサトウキビは砂糖を効率よく蓄えます。当社は北海道で栽培されたてん菜から糖분을抽出し、グラニュー糖や上白糖として皆様にお届けしております。

砂糖は料理において、甘味として使われるだけでなく、水分の保持、腐敗防止等の効果もあり、食生活には欠かせません。

グラニュー糖、上白糖、三温糖、双目（ザラメ）糖、粉糖等、日本では用途に応じて色々な砂糖が使われており、食文化を彩っています。



本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして実際の業績等はこれらと異なる可能性があります。万一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社は一切責任を負わないことをご承知おき下さい。

本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

【お問い合わせ先】

日本甜菜製糖株式会社
法務室法務課

soumutky@nitten.co.jp



11月30日は「いい砂糖の日」です。